

ドラム缶内残量確認を時短

センサー式液面計発売

アクアシステム

【彦根市＝滋賀】アクアシステム（本社滋賀県彦根市・木村匡伸社長）は、ドラム缶内の液体（低粘度オイル、灯・軽油、廃液など）が満タン状態であることを測定する「セ

ンサー式満タン液面計」(GDB-CF)を新開発し、1日から発売した。販売価格は約2～3万円（税込み）。

知しスムーズな満タン確認が可能。「ペール缶などに入れた廃液を漏斗でドラム缶に移しライトで缶内を照らしたり、ドラム缶をたたいて満タンになったかどうかを確認する」など従来の廃液回収にもなう作業効率の悪さを大幅に改善した。

同製品の特徴は①ワンタッチで簡単に測定できるため、満タン時

確認作業の手間を省く（スイッチを押すと赤く点灯し3分後に自動停止し、再開したいときは再度スイッチを押す。満タン時に15秒間ブザーが鳴り赤く点灯）②電池式を採用し、一度の電池交換で約1000回使用可能（一般的な単3形アルカリ乾電池4本使用。耐久性が従来の2倍のリチウム乾電池も対応し、寒冷地では長持ちする）ーなど。



液面計GDB-CF